

互助やまがた

83

令和7年
10月31日発行

編集・発行／一般財団法人 山形県教職員互助会 〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号（山形県教育局福利厚生課内） TEL023-631-5115
印刷／株式会社 大風印刷



庄内平野

CONTENTS

● 会員だより	1～4
● 支部だより	5～8
● 退職互助部事業実施状況・令和7年度退職互助部制度説明会開催状況	9
● 施設利用補助事業	10
● スポーツ観戦補助事業（山形ワイヴァンズ・アランマーレ山形）	11
● 芸術鑑賞補助事業（山形交響楽団）	12
● 療養補助金の請求はお早めに・事務分散へのお願い	13
● 確定申告で医療費控除を受ける方へ	14
● スキー場利用補助事業	14
● 特別加入者ご本人様とそこそご家族の皆様へ・法律相談事業	15

各種補助
事業の
お申込み
お問合せ

一般財団法人山形県教職員互助会 厚生担当

ホームページ <https://www.yamakyogo.or.jp/>

〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号（山形県教育局福利厚生課内）
TEL 023-631-5115 FAX 023-624-1700

※この会報誌は、令和7年9月末時点の会員登録情報をもとに送付しています。

※令和7年11月3日・12月7日は、県庁舎停電のためFAXの受信ができませんのでご注意ください。



会員だより

「昭和」がよかった

西村山支部 砂田 哲

私の住んでいる町内会の戸数が年々少なくなってきた。私の小さい頃は50軒はあったと思うが今は30数軒になってしまった。私の同級生が同じ町内会に7人いたが、今は小学生全員で5、6人である。

学校から帰るとカバンを放り投げるように外に出て遊んだ。必ず上級生、下級生と一緒に遊んでいた。遊ぶ道具など何もなかったが、自分たちで遊びを作って遊んだ。

よく木登りをした。木の枝と枝の間に板を組み立て住処を作って遊んだ。子どもたちだけでよく作ったものだと思う。中学生とも一緒に遊び、遊びのリーダーとして、小さい子どもも面倒みてくれたからだと思う。

近くの山に遊びに行つて時間を忘れて遊び、暗くなつてから帰ってきたら、お父さん、お母さん、近所の人たちがたくさん集まっていた。遅くなつても帰つてこないの、皆で探しに行く所だったのである。ひどく怒られた記憶が今でも鮮明に思い出される。

子どもたちだけで遊ぶ楽しさを満喫できた経験は、大人になってからの社会で生きる力になったことは間違いない。子どもの時から集団で生活することの楽しさや人間同士の関わり方を遊びを通して培われたように思う。

また、近くを流れる川でよく遊んだ。カジカやドジョウをよくつかまえた。その道具なども工夫しながら自分たちで作った。法師川で泳ぎ、最上川を泳いで横切れるようになると一人前と認められた。泳ぐといっても最上川の流れが強く、流されて向こう岸にたどり着くのであるが、飛び込むときの恐怖感は今でも忘れられない。先輩たちが、強い流れの中の泳ぎ方を教えてくれて、見守ってくれたから出来たのだと思う。外で遊ぶことで、自然の素晴らしさや恐ろしさを身を持って体験でき、自然と共に生きていくことの大切さを学んだように強く思う。

近くに、私の家と親しくしている農家の家があつて、学校から帰るとすぐその家に行った。その家のばあちゃんが、みそおにぎりやナス漬をご馳走してくれるからである。戦後の何もない時代なので、そのおいしさは忘れられない。田植えや稲刈りのお手伝いもやった。田植えをして自分の植えた苗が次の日に田んぼの中でぷかぷか浮いていることもあつた。懐かしく貴重な思い出である。

私の孫たちが今、中高校生である。学校から帰ってからの生活は、ほとんどは家の中でスマホで過ごしているか、外に出るのは、「イモ天」とか買い物くらいである。

私たちの小さい頃は、貧しくて何もない時代ではあつたが、今よりも自由に伸び伸びと暮らせて、豊かな心を持っていたように思うのは私だけだろうか。

会員だより

趣味と共に～生け花と読書～

最上支部 阿部 隆子

私は、再任用後に教育委員会臨時職員として3年間勤め、昨年3月末で退職をした。現在は、二つの役員と義父の世話、趣味の生け花や読書をしながら生活している。趣味の生け花は、教員になって直ぐに始めたので、かれこれ45年くらいになる。

生け花をしていた私は、卒業式や入学式の準備で来賓控室や卒業生の教室、時には玄関や校長室などにも花を生けることが多くあり、多くの人の目にふれる機会を経験した。ある学校で、玄関に花を生けていたら生徒から花の名前を聞かれ答えている様子を見た校長先生が、お花のネームプレートを作って置いてくださった。また同僚から「私も生け花習いたい」と言われ、華道の先生を紹介したこともあった。

週1回のお稽古の他に、月1回の研究会にも参加していた。研究会は、与えられた花材を50分で生け、講師の先生に評価(採点)、講評を頂き、今後の稽古に生かすというもので、自分の実力を試す機会でもあった。

読書は、高校の時から好きで、今は金山町の森図書から借りている。今年の5月に今村翔吾さんが書いた「ひやっか」という本と出合った。新庄市の観光大使でもある著者だったので興味深く読んだ。生け花をしていた私でも驚くことばかりだった。一つの花を二人で交互に5分で生ける。花器と花材は会場で初めて知る。審査員の得点の他に観客の点が入る。このバトルは全国大会まで進めると言うのだ。長くお花にかかわっていて、初めてバトルのことを知った。読み終えた私は、実演を見たくなり直ぐにネットで調べてみた。ラッキーなことに宮城県で7月6日に東北大会があることを知り、向かった。会場には22組44人の出場選手がいたが、残念ながら山形県からの出場選手はいなかった。この日私と夫は観客審査員を経験することができた。枝物が止まらず持ち時間が無くなり後方の生け手が半分の時間で全てをいけることになることもあり、刻々と過ぎる時間にハラハラドキドキであった。そして自分が入れた選手たちの点数が高いと嬉しくもなった。美と協力体制を求めるハードルの高いバトルが見れ、読んだ本に感動し、ネットで調べ、実際に見に行くという行動をおこした自分の行動にも驚いてしまった。

今回の出会いで、お花の素晴らしさを再確認でき、これからも生け花を続けながら、家の中だけでなく花壇にも手をかけ、色々な花を楽しみたい。読書も人の心を動かし、行動まで起こさせる素晴らしいもので、どちらも心豊かにしてくれる。今は、時間の使い方は自分で工夫できるので、大切な時間を有効に使って、楽しく生活をしていこうと思っている。



会員だより

「山びこ学校」を源流として

西置賜支部 梅津恒夫

県内各地の方々と 1980～90年代5年間の高教組専従時代、互助会役員としても諸会議出席や沖縄平和の旅(団長)に参加したこと、蔵王でのスキー教室でこまくさ荘に泊まり、初級班で斜面を滑るのが楽しく、夜は森谷支配人の羊肉・バーベキューでの交流がよい思い出です。当時の井上事務長・事務局の方々にも大変お世話になりました。県内各地、職種・職域を超え、学校・職場・ご自宅を訪ね、特に六単組での、県職員、教員・事務・実習教員・司書・業務員・寄宿舍・寮母さん参加の連夜の交渉は、私の宝です。

退職後の22年 2003年退職。健康第一に、週1回・2時間のバドミントン教室(現在、肩痛治療中)。ささやかに野菜づくりも。地元の小さな組合(西置賜ユニオン)での平和運動の継続。最上川舟運の基点、「馬街道」の町で、公民館を中心に郷土の歴史探訪と聞き書き、文化祭展示などの活動を楽しみ、中でも、中学の同級生と共同で作った文集は、県内外約100名から「卒業49年目の自分史」を加え、集団就職世代の歩んだ人生の苦楽を共有しました。

聞き書きでは、大きな水車小屋のあった家、越後街道・最上川舟運の由来、切支丹弾圧を逃れ最上川を下り酒田・樺太経由でカナダに逃げ延びた宣教師、井上ひさしの幼友達と岩手の中学同級生、長井工業定時制閉校式に来た坂本九、箱根マラソンの走者、「青い目の人形」を迎えた小学生と、戦中、焼く忍びず人形を隠した教師、和紙や織物作り、ハーモニカを吹く満州帰りの老人、広島島のピカをまじかで見た女性(学徒兵と結婚)、兄の戦死と敗戦に茫然自失し、憲法とキリスト教に生きる希望を見出した先輩教師他から話を聞きました。

文化祭展示4度、震災後の戦後平和と憲法が著しく後退する日々・悔しさの中で、宮城登米の『カナダ移民・佐藤惣右衛門物語』(共著)を綴る。カナダ日系人の戦時下強制移動と「戦争は終わったが」続いた市民権凍結。その背中合せ3年半の戦後日本の再出発。憲法・民主教育・山びこ学校(綴方復興)の意味を問い直す書です(2024日本自費出版文化賞・個人誌)。

「山びこ学校」 1949年時山元中学2年生の作文集。山一つ越えた白鷹町荒砥で小学校入学。私もまた小・中学と熱心に文集を作ってもらい、「いつも力を合わせていこう」という山びこ・民主教育の息吹を吸い込んだ。その体験が、国語教師として授業・学級日記・授業記録・学級文集など「書きながら考える」実践と、自著『わが・いもこ洗いの記』にもつながった。多くの先輩教師・地域の人々に啓発され、共に、確かに、私たちは山形の生活綴方教育の継承を担ったと思う。今も当時の先生が、文集を枕元に置いて電話をくださるのです。



1949
山びこ学校



1952
渡辺よね文集



1955
佐藤マサ子文集



1985
初の学級文集



1983 先導の
山岸円治郎文集



2007文集
安部昭二版画



カナダ移民
2021

会員だより

～戦争を語り継ぐ～両親の戦記より 酒田飽海支部 佐藤 喜和子

青春を語れば戦争のことばかりと話した父と母の思いを綴りたいと思います。父は大正11年生まれ、母は大正13年生まれ。存命ならば103才と101才です。戦地に召集され2人共からくも生きて本土に生還する事ができました。



ニューギニアの戦没日本人の墓

父は昭和18年上海に集結。昭和19年には遙か南海のニューギニア戦に参加。熱帯ジャングルでの死線をくぐり抜け、昭和21年6月に本土に復員しました。終戦から10ヶ月も経ってからの事でした。ニューギニア戦での日本軍は20万人以上で、生きて本土の土を踏んだ者は2万人にすぎなかったそうです。「ジャワは極楽、ビルマは地獄、生きて帰れぬニューギニア」と言われていたとの事。戦争末期のニューギニア戦は苛酷な自然環境との戦いでもあり、日本兵の死因の多くは直接の戦争によるものではなく、マラリア、赤痢、デング熱、腸チフスなどの熱帯性感染症と飢餓による栄養失調と餓死であったとの事。父は戦友の多くをジャングルに残したまままで胸が痛み夢に見ると。栄養たっぷりの連合軍に痩せ細った日本兵が勝てる訳がないと知りつつも戦うしかなかったとも。父が天童駅まで帰った時は母親がリヤカーを引いて迎えに来たそうです。マラリアにかかって栄養失調になった父は歩く事が出来なかったのです。父達ニューギニアから生きのびた兵の手記「ニューギニアの回想」には父達の編集後記が載っています。「戦争の悲惨さを心に刻み戦争のない未来をつくっていくために、愚かな日本の戦争を子や孫に伝えていかなければならない」と。



ニューギニアの回想



母の召集状



後列左から2人目が母

母もまた日赤救護看護婦として、昭和18年に召集され中国大陆の野戦病院で傷病兵の看護や看取りに従事しました。昼夜を問わず空襲にあい、着のみ着のまま、靴を履いたまま雨水のたまった防空壕に避難。そんな訳で母の足の爪は水虫のため真っ白。爪を切ろうとするとポロポロ落ちるのです。99才で他界しましたがその頃の短歌を紹介します。

国のためと己を捨てて戦場に 兵の看護するは十八歳
漢口よりわれの送りし毛髪は 遺髪とならず筆筒より出づ

母は21年6月召集解除となりその後小中学校の養護教諭となりました。「教え子を再び戦場に送るな」の退女教のスローガンのもと意志を貫きました。私は両親の反骨精神を受け継ぎ若者に伝えていこうと思います。憲法9条「不戦の誓い」を考えながら。

産土の空の高みに桐咲けば 従軍看護婦だった妣を恋ふ

(令和7年7月19日朝日新聞「みちのく歌壇」掲載短歌)

支部だより

東南村山支部

今年度の東南村山支部は、新入会員85名を迎え、総数2,754名の支部になっております。

支部総会並びに懇親会は6月25日、ホテルメトロポリタン山形で行いました。今年度の参加者は125名となり、昨年度を上回る皆さんにお集まりいただき盛大に開催することが出来ました。

内容としてはまず、県本部より「事業の現況と支部事業の廃止について」の説明がありました。その後の質疑応答では、本部においても将来に向けて退職互助部事業の安定した運営に一層努力していただきたいという思いが込められた意見が多く述べられました。総会ではまず、新たに選出された村形啓行支部長よりご挨拶と支部役員の紹介があり、その後令和6年度事業及び会計決算報告の審議、さらには令和7・8年度の事業計画並びに令和7年度予算案について協議し、いずれも承認され、閉会いたしました。

恒例となった総会後のアトラクションは、『木のぬくもりを音色にのせて』と題したピアチェーレの皆さんのマリンバによるコンサートを開催いたしました。あたたかな深みのある音色に酔いしれた時間を過ごすことが出来ました。懇親会には出演者の皆さんにも参加していただき、美味しい料理に舌鼓を打ちながら、楽しい時間を過ごすことができました。

その他の事業では、2学年の皆さんをお招きして最後となる「喜寿を祝う会」を9月25日に開催する予定です。また、10月には広報誌「互助東南村山」第13号を発行し、本支部活動を紹介すると共に最後となる次年度の総会へのさらなる参加をお誘いします。



◇令和7年度支部役員(◎新任)

支部長	◎村形啓行						
副支部長	犬石秀実	◎青柳由起子					
監事	荒木雄之	武田純成					
事務局長	田中 淳	会計幹事	加藤高志				
支部幹事	酒井進洋	山崎弘子	佐藤とも子	齋藤 誠	井上久明		
地区幹事	石塚直樹	三森 聡	伊藤眞司	高橋説子	山口歌子	柴田公利	
	窪田裕司	永沼千鶴子	吉田 明	那須育哉	鬼島悦雄	安達幸子	
	蜂谷正人	熊澤晃佳	細矢 実	樋口良彦	加藤信一	大津俊則	

西村山支部

本年度は、新入会員17名を迎え、665名の体制でスタートしました。本会の事業目的を①会員相互の連携と親睦を図る。②県互助部の事業と運営の周知を図り関心を高める。③市町ごとの情報交換を密にし、会員の動静把握に努める。と掲げ活動を開始しました。

8月27日、「ホテルサンチェリー」にて、賀寿者6名を含め45名の参加者を得て総会、演奏会、懇親会を開催できました。今年度で支部活動最後の年になる中、毎年楽しみにしていた方々がたくさん参加してくださいました。

特に今年度の演奏会には、山形市出身の歌手・YBC山形放送「工藤綾乃のあやラジ」などの『工藤綾乃さん』を招いて、ライブショーを行いました。「さくらんぼ恋しんぼ」をはじめ「ぶんちょう恋物語」昭和の演歌メドレーなど「山形のひだまり娘」の通りとても明るく元気な歌声を堪能できました。気さくな娘さんで、記念写真撮影など快く受けてくださいました。懇親会も、昔を懐かしみながら和気あいあいの中で行うことができ親睦が深まったと思いました。

また、総会当日に県互助会の事業説明や医療補助金の請求手続きや日頃の悩み等の相談コーナーを開設しました。今年度で支部活動が終了することに残念に思う会員の意見もありました。

会誌『互助西村山』の発刊により「会員同士の情報や動静がわかり良かった」と好評を得ていましたが、残念ながら今年度で最後の『互助西村山25号』の発刊を予定しています。総会、演奏会、懇親会の様子を掲載し、支部活動の最後を締めたいと思います。



◇令和7年度支部役員

支部長	砂田 哲	副支部長	熊谷昌彦
事務局長	升川光昭	会計幹事	五十嵐しのぶ
編集部長	志田紀子	監事	芳賀正幸 大泉静夫

各市町に地区委員をおいて会の運営、地区の情報収集に参加していただいています。

阿部和義	芳賀 彰	水谷広克	古城英三	佐藤義弘	土田芳昭
結城利春	池田昌子	布川雄二	阿部圭子	山泉 誠	板坂悦子
工藤直樹	阿部 仁	長岡信悦	村松洋一	犬飼藤男	

支部だより

北村山支部

今年度は新規加入者7名が加わり、総会員数514名となっています。昨年度は、令和2年度からの活動中止が解除され、通常の活動が行える喜びを感じながら事業を行いました。今年度も充実した通常の事業を行うべく取り組んでいます。

9月6日(土)にクアハウス基点を会場に総会・研修会・親睦会を行いました。総会は36名が参加し、県教職員互助会より佐藤常務理事、中村厚生主査にお越しいただき、事業実施状況や、支部事業の見直しについての説明を頂きました。

研修会では、地元村山市在住の齋藤隆氏が「居合道と村山市の取り組みについて」の演題で講演会を行いました。真剣を使った居合道の演武の後に、戦国時代に羽州村山郡楯岡在林崎村に生まれ、居合道を始めたと言われる林崎甚助重信公にまつわるお話や、現在の取り組みの様子、最近増えている外国人の体験の様子等を聞くことができました。話の後に質問される方も数名おられ、居合道への関心の高さが感じられました。

親睦会は話がはずみ、和やかな楽しい会となりました。

研修旅行は、10月3日(金)秋田県横手市、大仙市、角館町方面を計画しています。美術館や伝統ある酒蔵、みちのくの小京都と言われる角館武家屋敷通り等の見学や体験が楽しみです。

◇令和7年度支部役員

支部長	早坂重三	
副支部長	梶川英毅	伊藤秀昭
	佐藤 保	平澤郁子
監 事	武田栄一	太田光要
事務局長	寒河江秀壽	
事務次長	結城重敏	
幹 事	金谷正實	鈴木美和子



最上支部

6月11日(水)新庄市民プラザ研修室を会場に支部総会を開催した。総会後の講話、祝賀懇親会を含め、来賓2名と今年、米寿を迎えられた9名、新会員15名に招待状をお送りした。来賓1人と賀寿者1人にご臨席いただいた。また、県互助会から佐藤彰宏常務理事と小田島雄事務長にご出席いただいた。佐藤常務理事から、来年度末を以て支部活動廃止すること。小国支部長から、来年度末へ向けて今から準備を進めていく話があった。議長に高橋千春氏を選出し議事は滞りなく承認された。活性化事業は、宮城県南部の白石城と齋理屋敷を見学。福島県北部は相馬市震災復興シンボル「浜の駅松川浦」を訪れる。昼食に和風レストラン田園で郷土料理会席を味わう計画を9月17日に実施予定である。総会後に『新庄・最上ジモト大学の現状と今後の展望』と題した講話を実施した。講師は、新庄・最上ジモト大学コンソーシアム事務局 星川一宏氏にお願いした。ジモト大学は新庄・最上地域の高校生を対象に、地域課題等に住民等との対話や協働で、『地域の一員である』意識を醸成し、将来の定住や地域の中核となる人材育成を図ることと高校生の主体的な学習に取り組む態度を育成することを目的にしている。参加した高校生と地域の人それぞれが学ぶ機会となり、人との繋がりを実感し成長できる場となっている。

◇令和7年度支部役員(◎新任)

支部長	小国 隆				
副支部長	小野早苗	佐藤寛稔			
支部監事	西田昭一	高橋敏彦			
事務局長	小国 毅				
事務次長	高橋正彦(会計担当)				
幹 事	後藤雅之	斎藤玲子	門間今朝徳	斎藤道子	山科美恵子
	須藤信一	沼澤靖浩	青木智賀子		
地区委員	阿部隆子	加藤岩雄	小西志津子	◎伊藤 久	斎藤むつ子
	伊藤良子	山口由美子			

支部だより

東南置賜支部

令和7年度支部総会は、6月20日(金)南陽市熊野大社證誠殿を会場に、35名の出席者で開催されました。山口和夫支部長の挨拶では、総会を平日開催に戻した事由や令和8年度末をもって廃止される支部事業について説明がありました。協議では、令和6年度事業・会計決算並びに監査報告があり、新役員として、廣居安子副支部長、高橋哲雄監事、菅井浩之幹事の3名が承認されました。続いて、令和7年度事業の一日研修や支部会報発行等の年間計画と予算が提案され、すべて原案通りに承認されました。閉会后、山形県教職員互助会本部より、退職互助部事業の現状と支部事業廃止に至る経緯について報告がありました。参加会員からは、支部廃止に関する質問や意見が出ました。

研修会は、米沢在住のアマチュア落語家「立花亭小道」氏と「田舎家鯉志」氏による落語の鑑賞でした。ジェスチャーを交えた軽妙な語り口や熱のこもった話芸が面白くて、夢中で聴き入りました。会場は笑いに包まれ、とても楽しいひと時でした。

隣室に移って開催した親睦会では、「久しぶり!」「お元気?」の挨拶に始まり、会場のあちこちに話が咲きました。米寿を迎えた皆様の凛とした佇まいには感銘を受けました。支部活動終了を惜しむ声が数多く聞かれる中、万歳三唱で閉会しました。

9月11日(木)には、飯豊町白川ダム湖畔「白川荘」を中心に、「秋の一日研修」を実施しました。残念ながら、この研修も今回が最後となりました。美しい自然の中、参加者36名が、パークゴルフ、陶芸、森林浴・散策、温泉入浴、スマホ教室、写生・スケッチ、麻雀の種目で、終始和やかに研修することができました。

◇令和7年度支部役員

支部長	山口和夫			
副支部長	猪口和男	廣居安子	二瓶直樹	鈴木淳一
事務局長	神尾正俊			
会計幹事	梅津暢子			
幹事	本間勝美	棚村順子	小林知可志	
	菅井浩之	石川つぎ	後藤善一	



西置賜支部

今年度の西置賜支部は、米寿会員8名、新入会員9名、総勢420名で活動を開始しました。6月27日(金)白鷹町の『パレス松風』を会場に33名の参加者で総会・研修会・親睦会を開催しました。県本部より事務長小田島雄様、厚生主査中村真由美様にお越しいただき、五十嵐英治氏の議長で役員や事業・会計等の案件について協議を行いました。置賜の宝物について学ぶ本年度の事業計画案や予算案、一日研修旅行実施計画等についても満場一致で賛同いただきました。議事終了後には、ご参加いただいた米寿祝者への花束贈呈を行うとともに、スピーチをしていただきました。

総会後の研修会は、板締め技法を用いた白鷹お召や絣織物を明治13年の創業以来作り続ける白鷹町の小松織物工房6代目代表小松寛幸氏においでいただき、「小松織物工房が取り組んできた白鷹紬の歴史」と題してご講演いただきました。置賜紬の産地としての伝統の上に、「板締め」の技法を独自に取り入れ精微な絣模様を実現させるとともに、強撚糸を織り込んだ「白たかお召」を誕生させたこと、希少な「板締め」の技法を守りながらお召や絣織物を織り続けていること、そして「紅」「板締め」「紬」といった伝統技術を利用した織物素材をもとに、新たな商品を提案する「AKARIブランド」の開発等に取り組んでいることをお話しいただきました。また、わずかな時間を利用して小松織物工房で製作した小物販売をしていただきました。

研修会後の親睦会では、置賜の宝物に触れて満たされた心を更に開き、和気あいあいとした雰囲気の中で互いの親睦を深める機会になりました。

9月16日(火)に実施予定の一日研修旅行では、米織り「新田」での工房見学と紅花染め体験、上杉博物館での国宝「上杉本洛中洛外図屏風」の見学などを実施する予定です。

◇令和7年度支部役員

支部長	鈴木雄一郎				
副支部長	大貫英一				
支部監事	青木慶一	赤間早代子			
事務局長	小林宏一郎				
幹事	大竹 仁	酒井かね子	遠藤恵子	船山義弘	中村 元
	小関陽一	菅 文隆	小松弘子	小松裕子	渡部眞治
会計幹事	平 福子				



支部だより

田川支部

今年度は、38名の新会員が加わり902名でスタートした。

7月5日(土)に東京第一ホテル鶴岡を会場に今年度の総会・演奏会・茶話会を開催。総会は、宮崎吉成庄内教育事務所長、小澤敏一田川小学校長会長、土井浩貴田川中学校長会長、齋藤祐一田川高等学校長会長を迎えて開催(会員33名参加)した。今年度の事業・予算等について承認を受けた。また、出席いただいた長寿者に支部長より記念品を贈呈した。

演奏会は、念珠関辨天太鼓創成会・子供会の皆さんから『太鼓の演奏で笑顔を届けます』というテーマで演奏していただいた。法被姿にバチを持ち、笛や鐘を鳴らしながら威勢のいい姿で演奏がはじまった。大人だけのステージ、子どもだけのステージ、そして大人と子どもが一緒になったステージと太鼓のリズムに合わせて様々な曲が演奏された。見ている会員も一緒になって演奏し、いつの間にかみんな笑顔になっていた。田川支部として地域の子どもの活動をこれからも応援していきたい。

茶話会は、今年度もコーヒーなどソフトドリンクでの懇親の場を設定した。今年度は、飛び入りの出し物(手品)もあり、茶話会という形式にも慣れてきたように感じた。

総会当日は、互助会の医療補助相談コーナーを開設し、県の互助会主事さんから懇切丁寧な説明をしていただいた。相談した会員数は、年々増えて、今年度は10名になった。ただ、支部活動が来年度で廃止と聞いた会員からは、「支部廃止後は、相談会はなくなるのか…」といった声も聞かれた。

会報「互助たがわ」第35号には会員の皆様からたくさんの寄稿をいただいた。残りあとわずかになりましたが、田川支部の活動にご理解とご協力をお願いします。

◇令和7年度支部役員

支部長	菅原弘昭			
副支部長	山田和子	阿部美恵子	齋藤明夫	
事務局長	五十嵐芳昭			
幹事	柳澤 卓	中野智嘉	渡辺亮平	樋坂 聡
監事	渡部和恵	本間操子		



酒田飽海支部

今年度は新たに18名の新会員が加わり、674名でのスタートとなりました。

支部総会は、新会員の参加を配慮して7月19日(土)にホテルリッチ&ガーデンを会場に行い、役員・事業・会計等、全ての案件が承認されました。総会終了後、県役員(3名)の方々にお出でいただき、県全体の体制や事業の研修・療養補助金個別相談を実施しました。また、米寿・喜寿・新会員歓迎懇親会を行いました。久しぶりに集まった会員は、会食しながら各テーブルでの話が大いに盛り上がりつつありました。

研修旅行は9月25日(木)実施予定です。バスを使用し、生産額日本一の山辺ニット工場と名店の魅懐石料理処と東沢バラ園へのぶらり旅を計画しています。写真は昨年10月に実施した、江戸時代に奥羽13藩の参勤交代で利用した羽州街道の要衝・上山の栖下宿と上山城を巡る「紅葉の羽州街道ぶらり歴史探訪」での様子です。こんなに懐石料理を堪能して、歴史を学びながら、その素晴らしさを再認識するよい機会となりました。



◇令和7年度支部役員

支部長	石黒誠一			
副支部長	佐藤喜和子	飯沼典子		
事務局長	佐藤千佳夫			
幹事	佐藤由深子(会計担当)	後藤 量		
	藤丸美生	伊藤智子	時田昌子	
支部監事	佐藤正夫	丸藤博敬		

退職互助部事業実施状況

令和6年度末退職互助部特別加入者数 **7,649人**

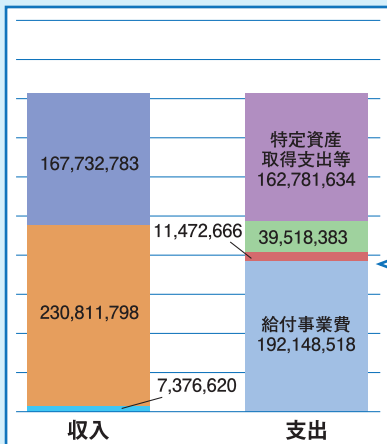
令和6年度退職互助部事業の収支状況

▶ 給付事業

科目	金額(円)	備考
療養補助金支出	101,068,000	17,674件
脱退一時金支出	81,724,237	142件
弔慰金支出	879,359	2件
献花料支出	2,176,922	289件
長寿祝金支出	6,300,000	210件
計	192,148,518	

▶ 福祉事業

科目	金額(円)	備考
研修旅行費支出	1,178,178	各支部で実施する研修旅行費
互助やまがた発行費支出	1,041,864	年2回発行
施設利用補助費支出	2,078,000	1,039件×2,000円
電話相談費支出	60,330	フリーダイヤル通話料
新規特別加入者説明会費支出	101,300	県内4か所で開催
健康増進事業費支出	2,675,540	生涯学習サポート事業等
健康診断補助事業費支出	4,163,214	114件
相談事業費支出	174,240	現職6件、退職5件
計	11,472,666	



	収入	支出
給付事業費		192,148,518
福祉事業費		11,472,666
管理費		39,518,383
特定資産取得支出等		162,781,634
特定資産運用収入等	7,376,620	
特定資産取崩収入等	230,811,798	
掛金収入	167,732,783	
計	405,921,201	405,921,201

令和7年度退職互助部制度説明会開催状況

新規特別加入者等(特別加入者の資格取得後3年目まで)を対象に、療養補助金の請求方法を中心とした退職互助部制度説明会を開催しました。

開催日	会場	参加者数
6月21日	山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング	57名
7月 3日	最上広域交流センター ゆめりあ	8名
7月 8日	伝国の杜 置賜文化ホール	26名
7月11日	いろり火の里 なの花ホール	26名

施設利用補助事業

補助対象者 特別加入者本人

補助額 1泊につき2,000円

※特別加入者おひとりにつき、年間10枚（10泊まで）となります。
※日帰り等の宿泊を伴わない場合には利用できません。

申請方法 宿泊施設にご予約後、**宿泊日の1か月前から5日前（土・日・祝日及び年末年始休業期間を除く）まで**に、次の①～④を明記のうえ、はがき・電話・FAX・ホームページにて、本会へ申請してください。申請を受理後、ご自宅へ「施設利用補助券」を送付します。

①特別加入者番号 ②氏名 ③宿泊日 ④宿泊施設名

※グループ代表者による一括申請の場合も、各利用者の特別加入者番号を必ず明記のうえ申請してください。

※令和7年11月3日（祝・月）、12月7日（日）は県庁舎停電のため、FAXの受信ができませんのでご注意ください。

～申請期限について～

日本郵便の土曜日配達休止・お届け日数の繰り下げに伴い、申請期限は厳守でお願いします。**直前のお申込みに対し、補助券の施設への直送及び来庁されてのお渡しは対応できかねます**ので、余裕をもってお申込みください。

土・日・祝・
年末年始を除く
**5日前
まで!!**

No.	宿泊施設名	市町村	電話番号	No.	宿泊施設名	市町村	電話番号
1	山形県職員会館あこや会館	山形市	023-642-1358	15	りふれ	小国町	0238-67-2011
2	KKR蔵王保養所白銀荘	山形市	023-694-9187	16	国民宿舎飯豊梅花皮荘	小国町	0238-64-2111
3	国民宿舎竜山荘	山形市	023-694-9457	17	コテージ村木湖里館	飯豊町	0238-78-0010
4	ひまわり温泉ゆらら ※1	中山町	023-662-5780	18	白川温泉白川荘	飯豊町	0238-77-2124
5	ひなの宿	河北町	0237-85-0789	19	いいで添川温泉しらさぎ荘	飯豊町	0238-74-2161
6	Asahi自然観	朝日町	0237-83-7111	20	湯野浜温泉保養所うしお荘	鶴岡市	0235-75-2715
7	奥おおえ柳川温泉	大江町	0237-64-2151	21	月の沢温泉北月山荘 ※2	庄内町	0234-59-2137
8	クアハウス基点	村山市	0237-56-3351	22	田田の宿	三川町	0235-66-5300
9	くつろぎの宿花笠高原荘	尾花沢市	0237-28-2121	23	湯の台温泉鳥海山荘	酒田市	0234-61-1727
10	あったまりランド深堀虹の館	大石田町	0237-35-5353	24	遊楽里	遊佐町	0234-77-3711
11	シェーネスハイム金山	金山町	0233-52-7761	25	大平山荘 ※3	遊佐町	090-2607-2326
12	まむろ川温泉梅里苑	真室川町	0233-62-2373	26	四季の森しらい自然館	遊佐町	0234-72-2069
13	赤湯温泉保養所むつみ荘	南陽市	0238-43-3035	27	西浜コテージ村	遊佐町	0234-77-3600
14	川西町浴浴センターまどか	川西町	0238-42-4126				

※1 宿泊は、木曜日・金曜日・土曜日・日曜日・祝日前日のみ ※2 宿泊は、金曜日・土曜日・日曜日・祝日前日のみ（12月、1月は休み）

※3 営業は、4月下旬～10月下旬

健康
増進事業

スポーツ観戦補助事業

	山形ワイヴァンズ バスケットボール		アランマーレ山形 バレーボール	
対戦相手	信州ブレイブウォリアーズ	岩手ビッグブルズ	大阪マーヴェラス	ヴィクトリーナ姫路
試合日	令和7年12月13日(土)	令和8年1月25日(日)	令和8年2月14日(土)	令和8年3月1日(日)
開始時間	15:05	14:05	14:05	13:05
会場	山形県総合運動公園 総合体育館 (天童市)	山形市総合 スポーツセンター (山形市)	山形県総合運動公園 総合体育館 (天童市)	つるしんアリーナ 小真木原 (鶴岡市)
席種	1階自由席		2階自由席	4階自由席
自己負担額	1,500円／1枚(通常団体価格2,500円)		1,500円／1枚 (通常前売価格2,700円)	1,500円／1枚 (通常前売価格3,000円)
募集枚数	20枚	20枚	20枚	20枚
申込締切	令和7年11月14日(金)必着		令和7年11月28日(金)必着	
決定通知	11月下旬郵送		12月中旬郵送	

※開始時間は予定時間です。変更等は各公式HPでご確認ください。

申込方法

下記申込書により、必要事項をご記入のうえ、ご希望の試合日を○で囲み、郵送またはFAXでお申込みください。ホームページ「健康増進事業申込フォーム」からもお申込み可能です。



留意事項

(1) **特別加入者おひとりにつき1試合1枚までのお申込みとなります。**

(2) 電話番号については、日中ご連絡が取れる番号をご記入ください。

(3) 申込みが募集枚数を上回った場合は、抽選により補助対象者を決定します。

(4) 申込結果については、「決定通知」をもって上記の日程でお知らせします。

(5) チケット手配の関係上、**申込締切日以後の申込取消はできかねます。**

※自己負担金の支払いは試合当日になります。申込締切日以後にご本人の都合によりキャンセルとなった場合も自己負担金をお支払いいただくことになります。その場合の振込手数料は本人負担となりますので、予めご了承ください。

※令和7年11月3日(祝・月)は県庁舎停電のため、FAXの受信ができませんのでご注意ください。

キ リ ト リ

スポーツ観戦補助事業申込書

特別加入者番号	氏 名	TEL	()
山形ワイヴァンズ		アランマーレ山形	
会場・試合日			
天童(12月13日)	山形(1月25日)	天童(2月14日)	鶴岡(3月1日)

※健康増進事業を運営するにあたり、個人情報を同事業関係者に提供する必要があります。申込書の提出があった時点で、同申込書に記載の個人情報については提供の同意があったものとさせていただきます。

健康
増進事業

芸術鑑賞補助事業

山形交響楽団

	特別演奏会		庄内定期演奏会
	ユアタウンコンサート2025 南陽公演	やまぎん県民ホールシリーズ Vol.3 演奏会形式オペラシリーズIV	第30回 酒田公演
出演者・ 演目	  指揮:飯森 範親 トランペット:松井 秀太郎 アルチュニアン:トランペット協奏曲 J. シュトラウス II 世:ワルツ「美しく青きドナウ」 他	  指揮:阪 哲朗 蝶々夫人:森谷 真理 ピンカートン:宮里 直樹 シャープレス:大西 宇宙 合唱:山響アマデウスコア 他 ブッチーニ:歌劇「蝶々夫人」	  指揮&ヴァイオリン:徳永 二男 メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ベートーヴェン:交響曲 第5番「運命」 他
公演日	①令和8年1月10日(土)	②令和8年1月18日(日)	③令和8年3月14日(土)
開演時間	15:00		
会場	シェルターなんようホール(南陽市文化会館)	やまぎん県民ホール	酒田市民会館(希望ホール)
席種	全席指定(S席)	全席指定(A席)	
自己負担額	2,000円/1枚(正規チケット代金4,000円)	3,000円/1枚(正規チケット代金5,500円)	
募集枚数	60枚	100枚	50枚
申込締切	令和7年12月12日(金) 必着		
決定通知	12月下旬郵送		

申込方法

下記申込書により、必要事項をご記入のうえ、ご希望の公演日の申込枚数を○で囲み、郵送またはFAXでお申込みください。ホームページ「健康増進事業申込フォーム」からもお申込み可能です。

留意事項

(1) **特別加入者おひとりにつき1公演1枚までのお申込みとなります。**また、同伴希望者ご本人が特別加入者のときに限り、さらにもう1枚(隣同士のお席)の申込みが可能です。その場合は、申込枚数「2枚」を○で囲み、「同伴者情報」欄にその方の特別加入者番号と氏名をご記入ください。

(2) 電話番号について、日中ご連絡が取れる番号をご記入ください。

(3) 申込みが募集枚数を上回った場合は、抽選により補助対象者を決定します。

(4) 申込結果については、「決定通知」をもって上記の日程でお知らせします。

(5) チケット手配の関係上、**申込締切日以後の申込取消はできません。**

※自己負担金の支払いは口座振込となり、申込締切日以後にご本人の都合によりキャンセルとなった場合も自己負担金をお支払いいただくことになります。その場合の振込手数料は本人負担となりますので、予めご了承ください。

※令和7年11月3日(祝・月)、12月7日(日)は県庁舎停電のため、FAXの受信ができませんのでご注意ください。

キ リ ト リ

芸術鑑賞補助事業申込書

特別加入者番号	氏 名	TEL	()
山形交響楽団			
会場・公演日	申込枚数	同伴者情報(特別加入者のみ)	
①南陽(1月10日)	1枚 2枚	特別加入者番号	氏名
②山形(1月18日)	1枚 2枚	特別加入者番号	氏名
③酒田(3月14日)	1枚 2枚	特別加入者番号	氏名

※健康増進事業を運営するにあたり、個人情報を同事業関係者に提供する必要があります。申込書の提出があった時点で、同申込書に記載の個人情報については提供の同意があったものとさせていただきます。

療養補助金の請求はお早めに…!!

療養補助金とは、特別加入者本人が医療機関で支払った保険適用自己負担額の一部を補助する給付事業です。

特別加入者番号とは？

特別加入者資格取得時に送付している「特別加入者証」に記載してある6ケタの番号です。療養補助金についてお問合せの際は、ご自身の特別加入者番号をご確認のうえご連絡ください。

特別加入者番号	平成15年度～令和5年度までの資格取得者 3・4・5・6 から始まる方	令和6年度からの資格取得者 A～F から始まる方
給付対象期間	60 歳に達した翌月から 75 歳に達する月まで 固定15年間	61 歳到達年度から 80 歳到達年度の間に 選択する15年間
自己負担額の算出方法	◆70歳未満 1ヶ月の1つの医療機関(入院・外来別)の保険適用 窓口支払額の合計額 ◆70歳以上 …70歳を迎えた月の翌月分から算出方法が変わります(1日生まれの方は当月から) 1ヶ月のすべての保険適用 窓口支払額の合計額 ※医療機関や入院と外来、調剤を分ける必要はありません。	
給付額の算出方法	自己負担額 - 2,000円 - 1,000円未満の端数 = 給付額 ⇒算出した自己負担額の合計が3,000円以上のとき請求が可能です。	

請求方法 … 「療養補助金請求書」に必要事項をご記入のうえ、医療機関の領収書(原本)を添付して、本会あてにご請求ください。ご提出は、診療を受けた月の翌月以降にお願いします。
※「前回未収金」「未収金」等の名称で、当日の診療分以外のお支払いや調整がある場合は、医療機関にその「受診年月」及び「保険適用金額」をご確認ください。ようお願いします。
※医療機関領収書は、のり付けやホチキス止めはせず、クリップまたはそのままとめて封筒にお入れください。

送金日 … 本会に請求書が到着した月の、翌月末の送金となります。

請求時効 … 3年 <例:令和7年11月中の請求(本会受付)→ 令和4年11月受診分～請求可能>

●加入する健康保険より附加給付がある場合は、差し引いて給付します。
(国民健康保険、全国健康保険協会には附加給付はありません。)

●公立学校共済組合山形支部の資格を有する以下の会員及び(※)の被扶養者は**自動給付**となりますので、請求書の提出は不要です。診療を受けた月の概ね3ヶ月後の給付となります。

〔任意継続組合員(※)、定年前再任用短時間勤務職員(※)、暫定再任用職員(※)、
暫定再任用短時間勤務職員(※)、臨時的任用職員、会計年度任用職員、一般職・特別職〕

☎療養補助金に関するお問合せはこちらまで → フリーダイヤル 0120-37-1765

事務分散へのご協力をお願いいたします

●例年1月は請求が大変混み合うため、お急ぎでない方は、1月中の提出を避けてご請求ください。
●年内に提出可能な書類をお持ちの方は、お早めにご提出ください。
(令和7年11月時点の場合→令和7年10月診療分まで提出可能)



確定申告で医療費控除を受ける方へ

例年1月は、確定申告に伴い請求が大変混み合うことから、事務分散のため、提出期限を設けております。

医療費控除を受ける方で、医療機関領収書の返還を希望する場合は、下記の提出期限までご請求くださるようお願いいたします。その場合、決定通知書の送付と併せて、令和8年2月中旬頃の返還を予定しております。なお、期限までに届かないものについては、令和8年3月下旬の返還となります。

また、医療費控除の予定のない方、領収書の返還が不要の方はこの時期を避けてご提出くださるようお願いいたします。

提出期限：令和8年1月27日(火) 必着

**期限は末日の
4日前まで!!**

健康
増進事業

スキー場利用補助事業

補助対象者 特別加入者本人 **募集数** 400枚

補助額 2,000円のスキー場利用補助券を交付する。(1日の利用につき、1枚の利用を限度とする。)
※2日券などの数日券、シーズン券の購入については、同時に2枚の利用が可能です。

補助対象スキー場

- 蔵王温泉スキー場(蔵王索道協会) ☎023-694-9617
- 米沢スキー場 ☎0238-28-2511
- 湯殿山スキー場 ☎0235-54-6450
- 赤倉温泉スキー場 ☎0233-45-2901
- 黒伏高原スノーパークジャングル・ジャングル ☎0237-41-5555

補助券有効期限 交付日から令和8年3月31日まで

申込方法 下記申込書により、必要事項をご記入のうえ、ご希望の枚数を○で囲み、郵送またはFAXでお申込みください。ホームページ「健康増進事業申込フォーム」からもお申込み可能です。



留意事項

- (1) 特別加入者おひとりにつき2枚までのお申込みとなります。
- (2) 電話番号について、日中ご連絡が取れる番号をご記入ください。
- (3) 申込みが募集枚数を上回った場合は、抽選により補助対象者を決定します。
- (4) 申込結果については、「決定通知」をもって下記の日程でお知らせします。

申込締切 令和7年11月21日(金) 必着 **決定通知** 12月上旬郵送

※令和7年11月3日(祝・月)は県庁舎停電のため、FAXの受信ができませんのでご注意ください。

キ リ ト リ

スキー場利用補助事業申込書

特別加入者番号	TEL ()	申込枚数
氏 名		☐ 1枚 ☐ 2枚

※健康増進事業を運営するにあたり、個人情報同事業関係者に提供する必要があります。申込書の提出があった時点で、同申込書に記載の個人情報については提供の同意があったものとさせていただきます。

特別加入者ご本人様とそこご家族の皆様へ

転居や住所表示に変更があった場合、
会員の方がお亡くなりになった場合は、本会へご連絡ください。

その際に、会報誌送付の封筒に記載の **特別加入者番号(6桁)** をお伺いしますので、予めご確認の上、お早めにご連絡をお願いいたします。

なお、住所変更につきましては、『住所・送金口座変更届』を提出していただくことで、変更手続き完了となります。同届用紙は、ホームページからダウンロード可能です。

ご連絡先

一般財団法人 山形県教職員互助会 厚生担当
TEL 023-631-5115

法律相談事業

困ったことがおきたら、一人で悩まず相談を…！

事業内容

互助会と顧問契約した弁護士に、特別加入者が日常生活を営む上で発生する諸問題、諸事件(離婚・財産相続・破産・民事再生事件・刑事事件・民事事件・賠償責任事件等)について相談するときの相談料(通常 30 分で 5,000 円)を無料とします。ただし、同一案件については1回限りとし、2回目以降の相談は自己負担となります。

相談方法

伊藤三之法律事務所に直接電話、または事前予約のうえ事務所に伺って相談をしてください。その際、本会会員である旨を申し出てください。本会へ事前に連絡をする必要はありません。

なお、本事業は、法律相談に係る費用を本会が負担するもので、相談後に伊藤弁護士に弁護を委任した場合に発生する着手金、報酬金、訴訟実費等については、相談者本人の負担となります。詳細は伊藤弁護士にご相談ください。もちろん、秘密は厳守されます。

契約弁護士

弁護士 ^い伊 ^{とう}藤 ^{みつ}三 ^{ゆき}之氏

伊藤三之法律事務所

山形市宮町5-12-21

TEL: 023-633-7860

受付時間 月～金 9:00～18:00